



単元のめあて 地域の人々の生活について、古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしや様子について見学調査したり年表にまとめたりして調べ理解し、人々の生活の変化や人々の願いを考え、表現する。

学習の流れ ※赤字 タブレット活用時間

- ①地いきにのこる古いものを見つける。
- ②自分や地域のおじいさんやおばあさんの子どもころの暮らしについて調べ、今の生活との違いを話し合う。
- ③昔の道具調べをする。
- ④昔の道具について紹介してもらったり、実際に使ったりする。
- ⑤昔の道具にはどのような工夫があるのか、どのように使われていたかをプレゼンにまとめる。
- ⑥プレゼンにまとめた内容を発表する。
- ⑦学習の振り返りをする。

☆タブレット活用☆

- ロイロノートスクールを使い、グループ毎に昔の道具を紹介する。
プレゼン内容：道具名やどのように使っていたのか、今ではどんな道具に変化してきたのかを写真を入れてかく。
- 出来上がったプレゼンは教員へ提出する。

☆タブレット活用のメリット☆

- 昔の道具がどのように変化してきたのかを写真を貼ったり、クイズを出したり、実際に使っている様子を動画に撮って見せたりすることによって効果的に紹介することができる。